

## 村瀬美代子さん 満百歳を祝う

2月10日、村瀬美代子さんが満百歳のお誕生日を迎えられ、中山市長やご家族、施設職員らからお祝いの言葉を贈られました。

村瀬さんは、赤石町出身で、19歳でご結婚され、建設省に勤めていた夫と三男一女を育てられました。

健康の秘訣は暴飲暴食をしないことで、息子が釣ってきた魚をほぼ毎日、召し上がっていたそうです。料理上手で、カレーライス、ぼた餅などがご家族からは評判でした。自転車に乗って外出することが好きで、遠方では徳島市や勝浦町まで足を伸ばすこともあったそうです。70歳から書道も嗜まれ、5段の腕前です。

今は施設で過ごされ、週一回のレクリエーションを楽しまれています。

「今日は多くの人に祝ってもらえて嬉しい。」と微笑まれました。



村瀬 美代子さん

## 善意の寄付

2月17日、画家の銭谷 誠さん(小松島市出身)から、絵画「四国の東門」をご寄贈いただきました。

銭谷さんは、2月13日から17日まで本市木質ロビーにて絵画展を開催し、400名を超える来庁者が鑑賞しました。

ご寄贈いただいた絵画は、市役所玄関ロビーにて掲示を計画しておりますので、皆さま、ぜひご覧ください。



中山市長(左)と銭谷さん(右)

## オーガニック・エコフェスタが 開催されました

2月18日と19日の2日間にわたり、今年で12回目となる「オーガニック・エコフェスタ2023」が、みはらしの丘あいさい広場にて開催されました。

会場では、農業従事者等向け、消費者向けに様々な催しが行われ大勢の人で賑わいました。

19日には、中山市長が中四国で初となる「オーガニックビレッジ宣言」を行いました。

宣言では、国の定めた「みどりの食料システム戦略」の目標達成に向け、関係者のみならず市全体で、機運醸成に努め、生産者や消費者などが、それぞれの立場で有機農業を推進するという決意を表しました。



オーガニックビレッジ宣言の様子

## 地元食材を使って考案された オリジナルスイーツ



今回、立命館大学の食マネジメント学部と小松島市・小松島観光物産協議会の連携により、テントサウナ体験ブースとサウナ飯試食ブースが出店されました。

サウナブースでは流行のテントサウナを身近に体験できるとあって、たくさんの家族連れなどで賑わいました。県産のゆこうを使ったロウリュウ(フィンランド式サウナの入浴方法)では柑橘の甘酸っぱい香りがテント中に広がるさまに、参加者からは歓びの声が上がりました。

サウナ飯ブースでは同大学の学生が考案、試作した小松島市産の米粉としらすを使ったアヒージョや県産の柑橘類をたっぷり使用したパンケーキなど3メニュー合計150食が振る舞われました。